

平成 28 年度 第 2 学年 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果

教科	A 教科の内容		B 読み解く力に関する内容		A と B の合計	
	石西中	東京都	石西中	東京都	石西中	東京都
国語	75.7%	72.9%	65.4%	59.3%	74.1%	70.7%
社会	63.2%	57.6%	68.1%	58.1%	64.2%	57.7%
数学	64.1%	61.5%	42.3%	36.7%	59.6%	56.4%
理科	61.9%	57.7%	51.1%	45.3%	59.4%	54.8%
英語	63.8%	55.7%	62.9%	54.1%	63.6%	55.4%

教科	学力調査の課題分析	具体的な授業改善策
国語	<p>○教科の内容は 3 ポイント、読み解く内容は 6 ポイント程度、都の平均を上回っている。しかし、教科の内容では「技能」の書く力が不足しており、学年の達成率が 50%をわずかに下回っている。</p> <p>○書く経験を積み、書く力を伸ばす学習指導を展開する必要がある。</p>	<p>○漢字や文法などの基礎・基本の理解をこれまで以上に図っていく。</p> <p>○キーワードを使って要約したり、自分の言葉で説明したりする機会を多く設け、協働学習による学習で理解を深めさせるとともに、書くことへの苦手意識の軽減を図る。</p>
社会	<p>○教科の内容は 5.6 ポイント、読み解く力に関する内容は 10 ポイント都の平均を上回っている。話し合いを多く授業で取り入れているのが、このような数字につながったと感じている。一方で、学習の基本となる基礎学力の定着が課題である。</p>	<p>○授業内で、特に重要語句の理解を深められる工夫をする。</p> <p>○家庭での復習、基礎学力の定着を図るために小テストや定期考査の振り返りをより充実させる。</p>
数学	<p>○教科の内容及び読み解く力に関する内容ともに、5~6 ポイント程度上回っている。内容では「技能」「知識・理解」の分野で、都の平均を 2~3 ポイント上回るが、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」の分野では都の平均をわずかに上回る。</p> <p>○興味・関心をもたせる授業の展開と、思考力・表現力を伸ばす学習指導を展開する必要がある。</p>	<p>○基礎・基本を大切にし、一人一人の生徒が意欲的に取り組める指導を行う。</p> <p>○実生活に即した教材を取り上げることにより、より具体的な問題として理解を深めさせる。</p> <p>○ワークなどを活用し、反復練習の重要性に気づかせる。</p> <p>○発表やグループ学習を通して、思考・判断・表現を伸ばす学習指導を行う。</p>
理科	<p>○教科の内容が 4.2 ポイント、読み解く力に関する内容が 5.8 ポイント都の平均を上回っている。観点別では、読み解く力の取り出す力は 11.7 ポイント上回っており満足いくものだが、教科の内容の技能だけは 0.4 ポイント下回っていた。</p>	<p>○これまで以上に実験・観察の時間を重視して、注意事項を十分に把握し、実験器具の操作を行う。また、その結果を表やグラフにまとめることで技能を伸ばす学習指導を展開する必要がある。</p>
英語	<p>○教科の内容が 8.1%、読み解く力に関する内容が 8.8%、都の平均を上回っている。</p> <p>○「外国語表現」の観点では都の平均を 10.1%上回っているものの、学年の達成率が 50%をわずかに下回っている。</p>	<p>○日々の授業においても、自分の意見を述べたり、他の生徒の意見を聞いたりする時間を確保するようにする。</p> <p>○既習の知識を活用した、発展的な表現活用を積極的に授業に取り入れていく必要がある。</p>

平成 28 年度 第 3 学年 全国学力・学習状況調査結果および練馬区学力調査結果

全国学力・学習状況調査結果					練馬区学力調査結果		
平均 正答率	国語A 主として知識	国語B 主として活用	数学A 主として知識	数学B 主として活用	社 会	理 科	英 語
本 校	78.3%	67.8%	67.3%	49.2%	53.1%	52.2%	68.3%
都・区平均	都 76.9%	都 68.6%	都 63.5%	都 45.6%	区 50.8%	区 47.8%	区 66.0%
全国平均	75.6%	66.5%	62.2%	44.1%	55.2%	53.8%	61.8%

教科	学 力 調 査 の 課 題 分 析	具 体 的 な 授 業 改 善 策
国 語	○全国学力調査では、国語 A は全国・都平均を上回ったが、国語 B は全国を上回ったものの、都平均には至らなかった。知識を活用する能力をつけるのが課題である。	○読解力を向上させるため、接続語や指示語の働きを理解させ、要約したり自分の考えをまとめたりする活動を取り入れていく。協働学習による話し合い活動を随時行っていく。
社 会	○基礎的な理解力は高く、よく勉強はできている。しかしそれを応用する力、表現力にまだまだ課題が見られる。特に文章で答える問題については、最初からやらなかったり、諦めている生徒が多いようである。興味・関心を高め、意欲的に学べる環境づくり、文章で表現力を育成できるように指導することが課題である。	○テストなどを使って文章などで答える学習を繰り返していく。 ○アクティブラーニングなどの授業を取り入れ、活動の中で学習する機会を増やす。 ○基礎の反復学習をおこなう。
数 学	○全国学力調査において、知識・活用と共に全国・都平均を 4～5 ポイント上回り、概ね良好と考えられる。内容では「資料の活用」についての理解度・活用度がやや低い。また記述式の問題に対して、取り組もうとしない生徒が出ているのが課題である。	○「資料の活用」については、実生活に基づく題材を設定し、反復練習を行っていくことが必要である。また、成就感を体験できる授業を展開し、前向きな姿勢を育てていく。
理 科	○練馬区学力調査では、区の平均正答率を上回っていて、全体としてはおおむね良好である。しかし全国の平均をわずかに下回ったのでさらに改善が必要である。領域別に見ると、「動物の生活と生物の変遷」と「気象とその変化」については全国の平均を上回ったが「化学変化と原子・分子」と「電流とその変化」については下回った。	○「化学変化と原子・分子」と「電流とその変化」については、観察・実験をより重視し、結果から規則性や法則性を見いださせる授業の回数をさらに増やす。また、日常生活と関連性のある問題を解かせ、学習内容がどのように活用されるのかを説明する。
英 語	○全ての領域や観点について目標値を上回っているが、「書くこと」、「読むこと」の領域で、校内正答率が区で設定した目標値に対し、やや低めの項目がそれぞれ 2 カ所あった。 ○この項目における問題の内容は、「語彙の知識・理解」、「場面に応じて書く英作文」、「さまざまな英文の読み取り」、「長文の読み取り」である。	○「読み取り」や「書くこと」については、苦手意識がある生徒が多いため、スモールステップを組んで繰り返し取り組む機会を作る。授業の初めの活動で既習の語句や語法の復習をしたり、単元の最後にまとめの活動を設けること総合的な英語力を育成していく。

